

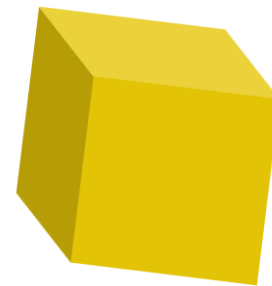


TOMAS TECH

BOIウェビナー「Thailand: Your Strategic Base for Digital Growth Across ASEAN」

Investor Spotlight | Case Study: Strategic Implementation and Practical Insights in Thailand

タイでの事業展開とBOI活用の実際



Presentation by TOMAS TECH CO., LTD.

AGENDA

- 01 会社・事業のご紹介
- 02 なぜタイで、なぜBOIか
- 03 BOI申請から取得までの道のり
- 04 取得した恩典と履行義務
- 05 タイ進出を検討される皆様へ

1. 会社・事業のご紹介



野崎 涼 / Ryo Nozaki

TOMAS TECH CO., LTD.
CEO (Authorized Director)

2012

工業大学 卒業
情報工学部(工学士)

2012-2017

金融系システム会社勤務 システムエンジニア職(日本)
ERPシステムの設計・開発・運用(Java / COBOL / SAP ABAP)

2017-2021

TOMAS ENGINEERING (THAILAND) CO., LTD.
Sales Directorとして商社でIoT事業に従事(タイ・バンコク)

2021-現在

TOMAS TECH CO., LTD. 設立・CEO
タイの製造業・物流業向けにシステム開発/IoT・DX支援を展開

日本でSE経験
5年

タイ在住・タイビジネス
9年

TOMAS TECH
6期目

Our Mission

“Genba” Productivity, Maximized by Technology
テクノロジーの力で、“Genba”の生産性を最大化する

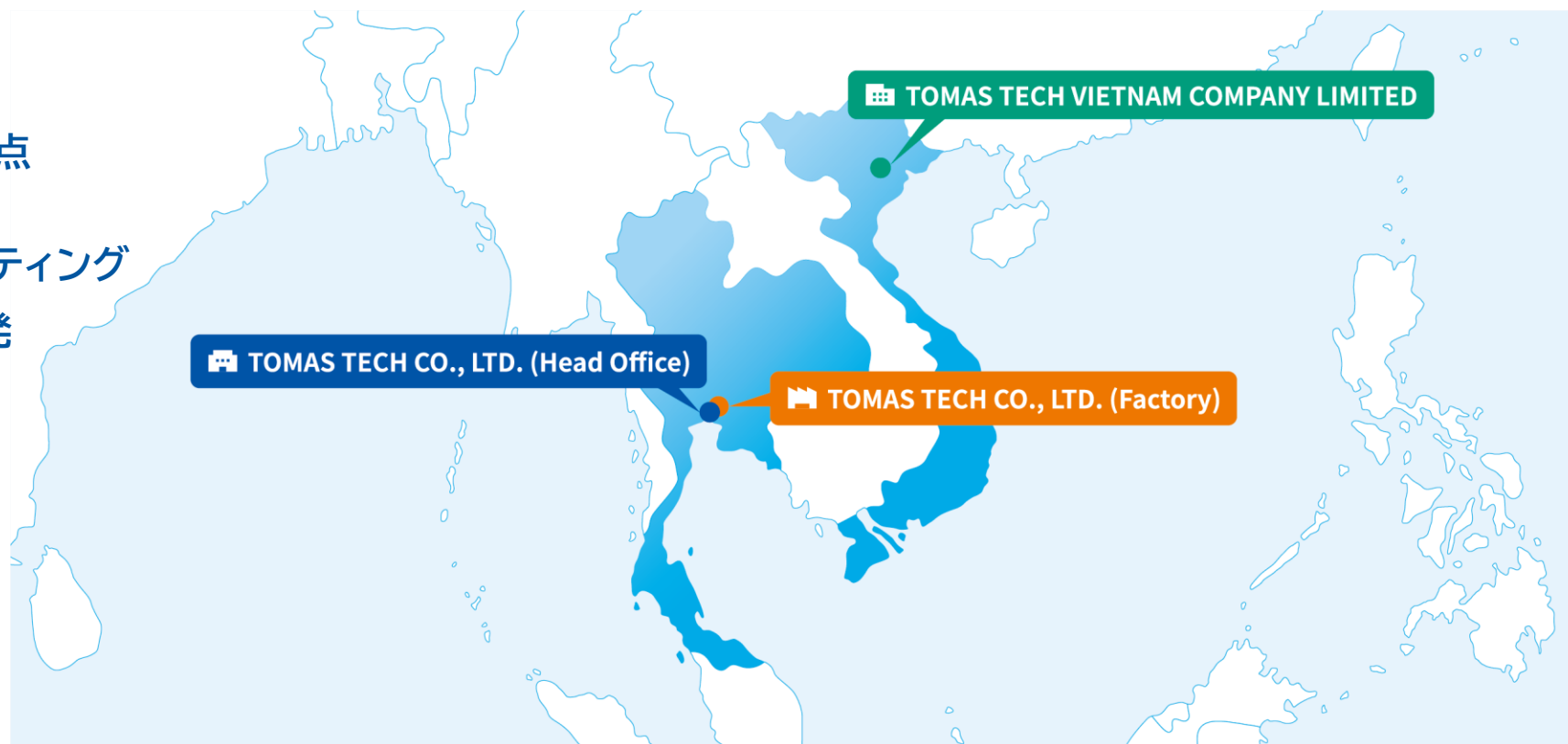
会社名 TOMAS TECH CO., LTD.

設立 2021年02月

従業員 52名 *2025年12月時点

事業内容

- ① AI・システムコンサルティング
- ② AI・システム設計・開発
- ③ 運用・保守・改善
- ④ FA・自動化/設備連携
- ⑤ IoT・データ可視化
- ⑥ 製造・物流DX



生産管理システム領域 (Information Technology)

アプリケーション開発

- PLCプログラム開発
- ハンディーターミナル
- タブレット／スマートフォン
- スマートウォッチ
- RFIDソリューション



パッケージソフト開発・導入支援

- 生産管理システム
- 倉庫管理システム
- トレーサビリティシステム
- 電子帳票システム
- 生産スケジューラー



i-Reporter



AI領域 (Artificial Intelligence)

AI導入・開発

- オーダーメイドAI開発
- チャットボット
- AI-OCR(帳票・請求書)
- 社内規程・人事問い合わせAI
- 生成AI業務自動化



AI研修

- 生成AI実務研修
- プロンプト集提供
- 受講後フォロー研修
- 社内展開伴走支援



IoT・トレーサビリティ領域 (Operation Technology)

- プロダクションライン見える化 / IoT
- エネルギー監視システム
- トレーサビリティシステム(生産設備)
- トレーサビリティシステム(ロット管理)
- スマートウォッチシステム／呼び出しシステム



物流改善ソリューション領域 (Factory Automation)

- 無人搬送車(潜り込み型)
- 無人搬送車(牽引型)
- 無人搬送車(コンベヤ型)
- 無人搬送車(フォークリフト型)
- ロボットシステム／省人化装置／検査装置



当社はシステムインテグレーターとして、3つの強みを活かして、お客様にソリューションのご提供をしています。

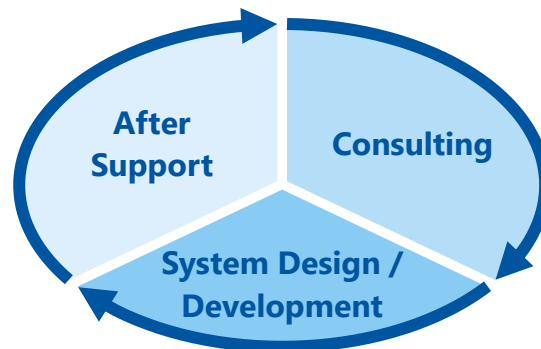
多岐にわたるソリューション

IT領域・AI領域・OT領域・FA領域の4分野を軸に、制御機器開発から生成AIの業務活用、IoTによる現場の見える化、無人搬送（AMR/AGV）まで、幅広いソリューションをワンストップで提供します。ソフトウェア・ハードウェア・インフラを総合的に組み合わせ、お客様の課題・ご要望にマッチした最適な仕組みを構築します。



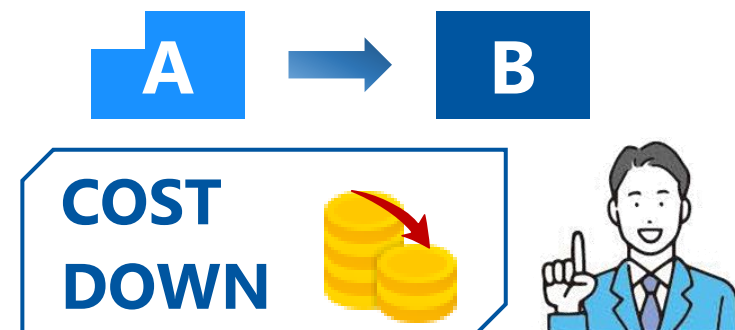
一気通貫のご支援

当社は、コンサルティング提案からシステム導入、AI活用の定着、アフターサポートまで一気通貫でご支援します。AI領域・IT領域・OT領域・FA領域の4分野を総合的に組み合わせ、ソフトウェア・ハードウェア・インフラを横断したトータルソリューションを提供。部分最適・全体最適の両面から、お客様にフィットする仕組みをご提案します。



柔軟なご提案

お客様のご要望・状況・目的に合わせて、柔軟にご提案します。スモールスタートで投資対効果を確認しながら段階的に拡張できるため、「失敗しないシステム投資」が可能です。生成AIの活用でコスト削減と業務効率化を実現。ローカルスタッフ様を含めた導入検討ができるよう、日本語・タイ語・ベトナム語・英語のサポート体制を整えています。



当社のソリューションが自動車・半導体・電子・電気機器・通信・機械・化学・食品・小売りなど幅広い業界で採用されお客様の業務効率化に貢献しています。

取引先の一例

ISUZU



MITSUBISHI
HEAVY INDUSTRIES, LTD.

JTEKT

DENSO

AISIN

Nidec

MinebeaMitsumi
Passion to Create Value through Difference

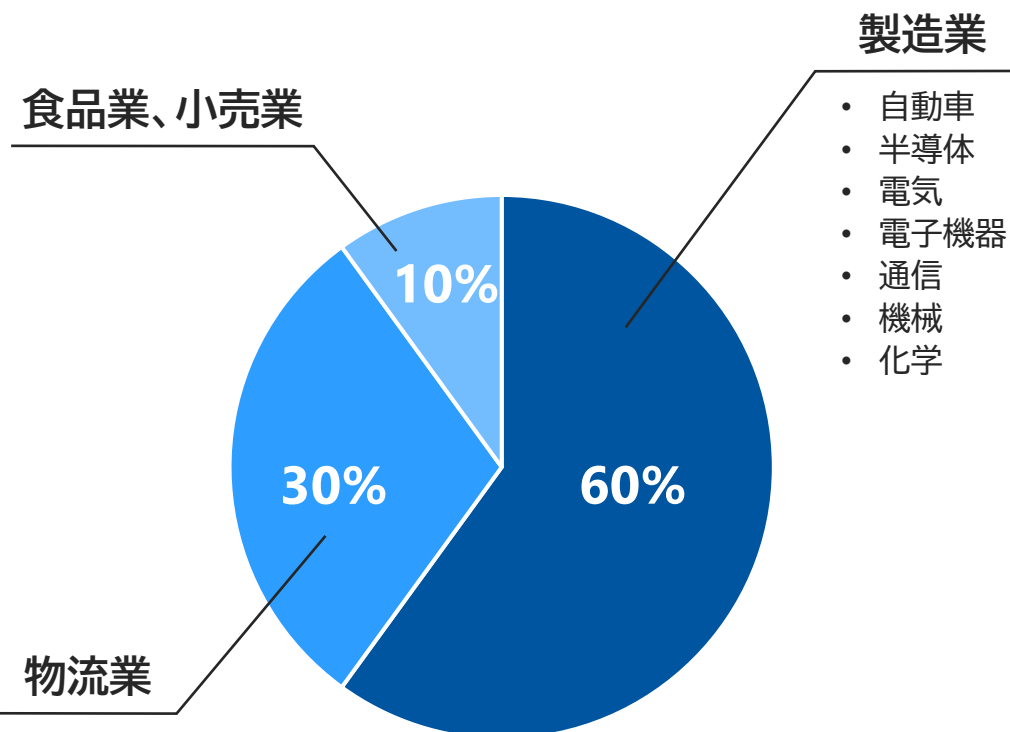
Kaneka

DAIFUKU
Always an Edge Ahead

NEX NIPPON
EXPRESS



業界構成



2. なぜタイで、なぜBOIか

タイは「生産拠点」から「ASEANのデジタル成長拠点」へと進化しています。

01

国家戦略

Thailand 4.0

デジタル産業を次世代ターゲット産業に位置づけ、産業高度化を国を挙げて推進。

02

BOI 投資促進戦略

2023-2027

自動化・デジタル化・脱炭素化への投資による「グリーン・スマート産業」への転換を重点奨励。

03

ビッグテックの投資

3,000億バーツ超

2023年、AWS・Microsoft・Googleがタイへの大型投資を相次いで発表。データセンター・クラウド基盤が急拡大。

日系製造業の集積地であるタイで、製造業DX(スマートファクトリー)の需要が急拡大 — 弊社がBOIに挑戦した背景です。

AI・クラウド・IoTを活用した製造業向けプラットフォーム事業でBOIを申請しました。

スマートファクトリープラットフォームSFPのソリューション

統合プラットフォームを活用することで、製造業の「生産性向上」「自動化」「グリーンテック」を促進します。

Smart Factory Platform SFP

AIによる予測保守

機械の稼働データをAIで常時監視し、故障やメンテ時期を予測



ビッグデータ分析

生産プロセスのデータをリアルタイムに収集・分析し、生産計画を最適化



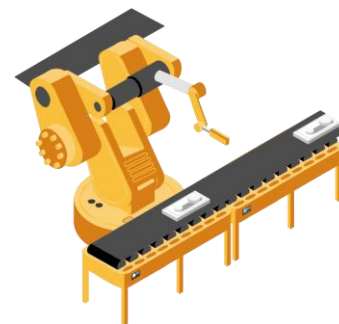
クラウド基盤のシステム

生産・在庫・品質を統合管理。どこからでもリアルタイムに工場を把握



自動化技術の導入

ロボティクス・IoTデバイスで省人化・ヒューマンエラー削減



グリーンテック導入

エネルギー監視により消費・CO2排出を削減。持続可能な生産へ



税務メリットに加え、外国人にとっては「事業のしやすさ」に直結する非税務恩典が魅力です。

税務恩典

・法人所得税(CIT)の免除 最長8年

IT人材の新規雇用給与・研修費等の対象支出に応じた免税枠

・機械・設備の輸入関税免除

サーバー・開発用PCなども対象

・配当金への非課税

免税期間中の配当は個人所得税も非課税

非税務恩典

・外国資本100%での事業運営

タイ人株主なしで外資マジョリティを維持可能

・外国人専門家・技術者の呼び寄せ

ビザ・労働許可証をOne Stop Serviceで取得・更新

・海外送金の自由

利益・配当を外貨で本国送金可能

「タイ国内で開発すること」「タイ人IT人材を新規雇用すること」が核となる要件です。

1

開発プロセスをタイ国内で実施

要件定義 → 設計 → 開発 → テスト → 導入 → 構成/変更管理 の6工程をタイで行うことが条件

2

タイ人IT人材の新規雇用

申請後に新規雇用するタイ人IT人材の給与が 年間150万バーツ以上(弊社の証書条件)

3

資本金

弊社の場合:登録資本100万バーツ以上の払込み

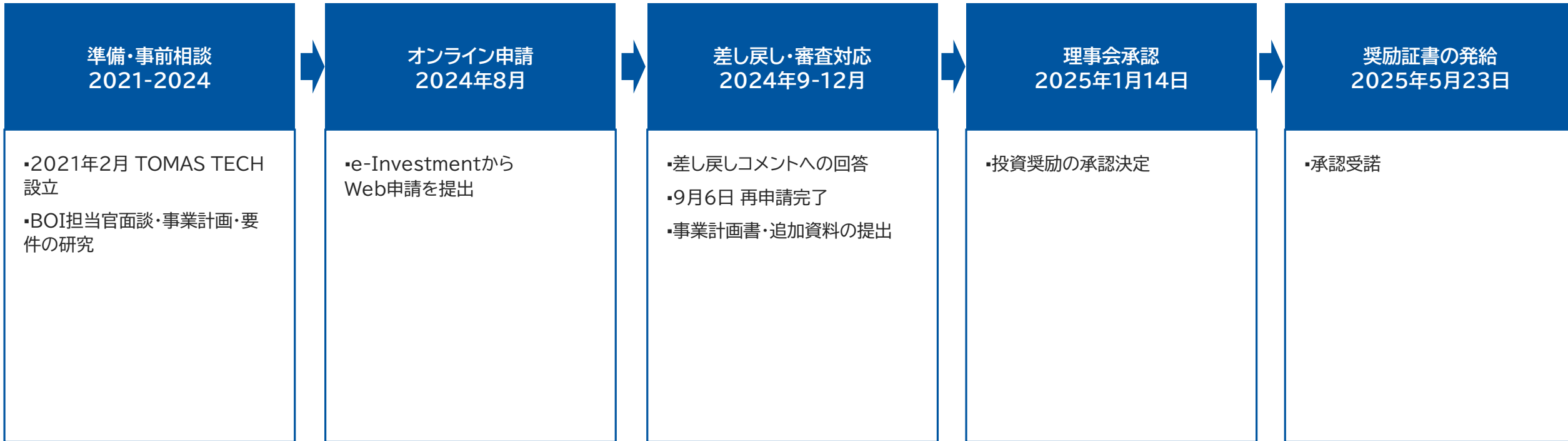
4

事業開始期限

奨励証書発給から12ヶ月以内に開業手続き(恩典利用開始)

3. BOI 申請から 取得までの道のり

オンライン申請から理事会承認まで約5ヶ月、奨励証書の発給まで約9ヶ月でした。



ポイント:差し戻しや追加資料のやり取りに一定の時間がかかるため、余裕を持ったスケジュールが必須です。

STEP 1	事前相談 BOI窓口で要件・カテゴリを確認(無料)
STEP 2	オンライン申請 e-Investmentシステムから申請書を提出
STEP 3	書類審査・差し戻し 担当官コメントに回答し、追加資料を提出
STEP 4	事業計画の説明 事業計画書を提出し、担当官の質疑に対応
STEP 5	理事会審議・承認 BOI内部の審議を経て承認通知
STEP 6	承認受諾・証書申請 承認条件を受諾し、証書発給を申請
STEP 7	奨励証書の発給 恩典利用の開始(開業手続きへ)

決まった様式はありません。弊社はパワーポイント20数枚で「タイへの貢献」を軸に構成しました。

- Executive Summary(事業概要・市場・課題・戦略)
- 会社紹介・これまでの実績(導入顧客120社超)
- Smart Factory Platformのソリューション詳細
- 市場分析(タイ製造業のDX需要・ターゲット定義)
- ビジネスモデル(ライセンス/クラウド サブスクリプション)

- 技術基盤・パートナー(日本のAI企業/大手クラウド)
- タイ人エンジニアの研修計画(AI・クラウド講座)
- ISO/IEC 29110 取得計画(品質保証)
- 新旧システムの違い(既存事業との切り分け)
- 3カ年の収益計画(BOI対象事業のみ切り出し)

「タイ人材の雇用・育成」「技術移転」「タイのデジタル化への貢献」を一貫したストーリーで示すことが重要です。

差し戻しは「不合格」ではありません。指摘に丁寧に答えれば前に進みます。

“ハードウェア投資がゼロ” 「ソフト開発でもPC等は機械とみなす。投資しない特別な理由は？」→ 開発用PC等の投資計画を追記

“人員計画と給与の不整合” 従業員数・年間給与・費用計画の数字がテーブル間で一致していないと細かく指摘

“IT人材給与 年150万パーツ要件” 「各年の合計給与が150万パーツを超えるように計画を修正すること」

“事業開始時期の考え方” 申請受理日より前の活動はプロジェクト対象外 → 機材購入・サービス開始時期を見直し

“開発ツールの全リスト” 開発・運用に使うソフトウェア/ツールを、オープンソース・フリーウェア含めすべて列挙

申請書とは別に、プロジェクトの実在性・具体性を示す添付資料一式を求められました。

1

プロジェクト詳細資料

機能・ユースケース・タイを選ぶ理由・タイへの貢献・全体構成など(図解つき)

2

開発プロセスのBOI指定フォーム

工程ごとの開発プロセス・使用ツール・期間を記入して提出

3

収益内訳(1～3年目)

ハードウェア売上などNon-BOI収益を除外した計算根拠

4

キーパーソン全員のCV

経歴・学歴・担当役割(申請者のパスポート写しも)

5

外国人雇用の詳細

役職・レベル・国籍・職務内容・給与・その必要性を1名ずつ説明

6

研修計画の具体例

テーマ・対象者・期間・提供元を明記(日本のAI企業研修とAWS講座を提示)

弊社が審査対応を通じて学んだ、実務上のポイントです。

1

数字の整合性 人数・給与・費用・収益 — 申請書のすべての表で数字を一致させる。最も多く指摘された点です。

2

Non-BOI収益の分離 ハードウェア販売などの収益はBOI対象外。対象事業の収益だけを切り出して計画を作る。

3

タイへの貢献ストーリー タイ人雇用・人材育成・技術移転を、事業計画全体を貫く軸として語る。

4

研修計画は具体的に コース名・提供元・時期まで書く。「人材育成に力を入れます」だけでは通らない。

5

差し戻しを恐れない 差し戻しは通常プロセスの一部。指摘には期限内に、1つずつ具体的に回答する。

4. 取得した恩典と履行義務

カテゴリ8.1.1 ソフトウェア開発

法人所得税の免除 — 8年間

IT人材の新規雇用給与・研修費・ISO/CMMI認証費など対象支出の100%を上限とする免税枠

機械・設備の輸入関税免除 — 承認リスト分

開発・運用に必要な機械(サーバー・PC等)の輸入関税を免除

外国人専門家の受け入れ — ビザ・労働許可

熟練技術者・専門家とその家族の入国・就労を許可(One Stop Service利用)

資金の自由な移動 — 配当・送金

免税期間中の配当非課税、外貨での海外送金が可能

ビザ・労働許可は2025年7月からOne Stop Service(Single Window)を実際に利用中。手続きが大幅に簡素化されました。

恩典には義務が伴います。取得後の運用体制まで見据えて計画してください。

資本金	登録資本100万バーツ以上の払込み
タイ人IT人材への投資	新規雇用のタイ人IT人材給与(または臨時雇用費)を年間150万バーツ以上支出
開業期限	証書発給から12ヶ月以内に開業準備を完了し、開業届を提出
定期報告	四半期の進捗報告と、会計年度ごとの年次報告をBOIへ提出
会計の分離	BOI事業とBOI対象外事業の収支を分けて経理(監査対応)
免税利用の手続き	CIT免税を使う年は、会計年度末から120日以内に監査済み報告書を添えて申請

5. タイ進出を 検討される皆様へ

「早めの相談」と「余裕あるスケジュール」— この2つだけでも持ち帰ってください。

1

とにかく早めに相談する BOIの事前相談は無料。弊社も最初の相談から取得まで時間をかけて構想を練りました。

2

恩典から逆算して事業を設計する どのカテゴリで・どの恩典を狙うかを先に決め、事業計画をその要件に合わせて組み立てる。

3

スケジュールに余裕を持つ 弊社の実績：申請から承認まで約5ヶ月、証書発給まで約9ヶ月。進出計画に織り込みを。

4

タイへの貢献を語れる会社になる 雇用・育成・技術移転。BOIは「タイに何をもたらすか」を見ています。

5

取得後の義務まで設計する 報告・会計分離・人材投資。取得はゴールではなくスタートです。

BOI・進出の一次相談

実体験に基づく申請プロセス・準備のアドバイス。専門家(会計・法務)のご紹介も可能

進出時のIT環境構築

オフィス・工場のネットワーク、サーバー、PC調達、セキュリティまでワンストップ

製造業DXの実行支援

生産管理・エネルギー管理(PEGASUS)、IoT・AI導入 — 120社超の日系企業で実績

「誰に聞けばいいかわからない」段階のご相談こそ、お気軽に。

nozaki.ryo@tomastc.com | www.tomastc.com



info@tomastc.com



TH/EN : +66-81-012-6064

JP /EN : +66-94-552-3097

VN / EN : +84-90-322-2209



TOMAS TECH



<http://www.tomastc.com>

TOMAS TECH CO., LTD. (Head Office)

住所

No.1 MD Tower 16Fl, Unit C1, Soi Bangna-Trad 25, Debaratna Rd., Khwaeng Bang Na Nuea, Khet Bang Na, Bangkok 10260 Thailand.

TOMAS TECH CO., LTD. (Factory)

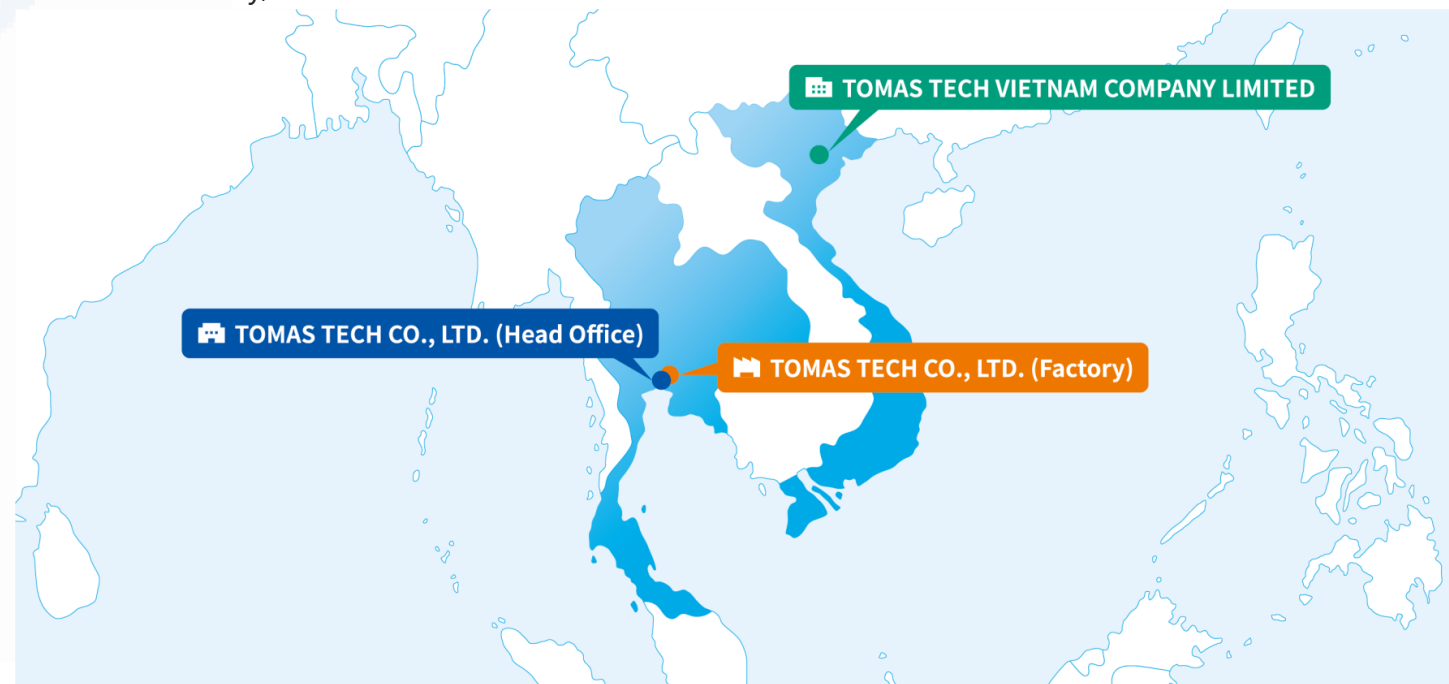
住所

No. 11, Soi On Nut 65, Intersection 9, Khwaeng Prawet, Prawet, Bangkok 10250 Thailand.

TOMAS TECH VIETNAM COMPANY LIMITED

住所

6th Floor, Sacombank Building, No. 35 Luong Dinh Cua, Kim Lien Ward, Hanoi City, Vietnam.



ご清聴

ありがとうございます。